

第46回全国高等学校選抜優勝大会愛知県大会(第3回ALL AICHI)

男子決勝

試合日	2015年11月8日
会場	緑スポーツセンター
コート	MC コート
開始時間	12:00

TEAM A		TEAM B
中部大第一 (1位シード)	88	名古屋大谷 (2位シード)
	16 - 14	
	22 - 17	
	25 - 6	
	25 - 13	
	OT	

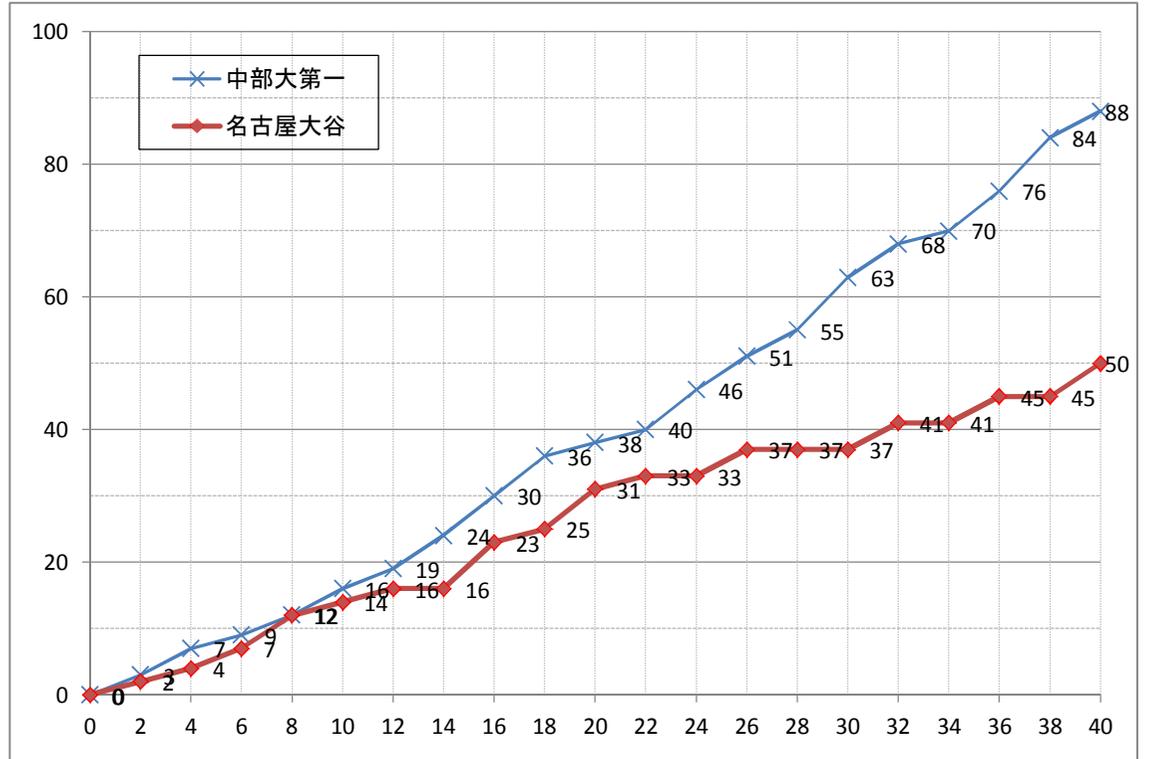
TEAM A 中部大第一 (1位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	遠藤 和希	4	0	1	2	3
5		早川 雄大	2	0	1	0	0
6	*	中村 浩陸	21	2	6	3	0
7		広沢 龍星	6	2	0	0	0
8	*	战 歌	29	0	13	3	1
9		加納 祐治	2	0	1	0	0
10		大川 翔	0	0	0	0	0
11		上澤 俊喜	—				
12		位田 真輝	—				
13	*	デイヴンジュニア 夕キ	14	1	3	5	3
14		川井 凱	—				
15		王 伟嘉	2	0	1	0	0
16		石川 智章	—				
17	*	坂本 聖芽	8	0	4	0	1
18		星野 京介	—				
TEAM/COACH	/	/	/	/	0		
TOTAL		88	5	30	13	8	

TEAM B 名古屋大谷 (2位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	田中 亮	2	0	1	0	1
5		川尻 政宏	7	0	3	1	4
6		西島 雄大	6	0	3	0	1
7	*	川尻 幸宏	2	0	1	0	2
8	*	萱 領人	10	0	4	2	2
9		嶋田 裕斗	—				
10		伊藤 堅斗	0	0	0	0	1
11		杉村 郁裕	4	0	2	0	0
12	*	那須 ケビン	16	2	5	0	4
13		平塚 直輝	—				
14	*	大橋 智海	3	0	1	1	3
15		東 海斗	—				
16		伊藤 佑馬	—				
17		川本 春樹	—				
18		後藤 秋	—				
TEAM/COACH	/	/	/	/	0		
TOTAL		50	2	20	4	18	

【 得点経過 】



【 戦 評 】

男子の決勝は第1シードの中部大学第一高校と第2シードの名古屋大谷高校の対戦となった。

第1ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。出だしはお互いに硬さが見られ、ロスコアな展開となる。中部大第一は⑧のポストプレー、⑥のミドルを中心に得点し、名古屋大谷は⑫の1対1を中心に得点していく。中部大第一の硬いディフェンスに名古屋大谷は苦しむが、⑧、⑫の1対1でリードを広げさせない。一進一退の攻防が続く中、16-14中部大第一リードで第1ピリオドを終了。

第2ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。中部大第一は⑥の3Pやドライブ、名古屋大谷は⑫のバリエーション豊富な1対1で得点し膠着状態が続く。しかし、6分40秒過ぎに中部大第一⑬のドライブと3Pでリードをきっかけに中部大第一は一気にリードを広げる。24-16となったところで名古屋大谷は1回目のタイムアウトを取る。タイムアウト後、名古屋大谷⑫の1対1、⑤のミドルシュートで点差を詰めるかに思われたが、中部大第一⑥がすぐさま入れ返し、その後も中部大第一⑥のドライブ、⑧のインサイドでの合わせとリズムよく得点する。オフェンスのリズムがディフェンスにも影響し、厳しい中部大第一のディフェンスを名古屋大谷は崩すことができない。残り2分18秒、36-25となったところで、名古屋大谷は2回目のタイムアウトを取る。タイムアウト後、名古屋大谷⑧のミドルシュート、⑤のドライブで得点し、点差を5点まで詰める。粘りを見せる名古屋大谷が一気に追いつくかと思われたが残り2秒で中部大第一⑥の3Pが入り、38-31中部大第一で第2ピリオドを終了。

第3ピリオド、両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。出だしから一進一退の攻防が続く中、中部大第一が走り続け徐々に名古屋大谷を離しにかかる。残り7分12秒、44-33中部大第一リードとなったところで名古屋大谷は1回目のタイムアウトを取る。なんとか打開したい名古屋大谷は⑤を投入しインサイドを強みにする。しかし、中部大第一④のファストブレイク、⑥の3Pでリードを広げる。中部の激しいディフェンスに名古屋大谷は攻めあぐね、中部大第一はさらに運動量を増やし一気にリードを広げ、63-37中部大第一リードで第3ピリオドを終了。

第4ピリオド、中部大第一はハーフコートマンツーマン、名古屋大谷は1-1-2-1から3-2ゾーンディフェンスでスタート。出だしに名古屋大谷⑤のシュートが決まり、中部大第一のターンオーバーも誘う。流れが変わるかに思われたが、中部大第一⑬のバスケットカウントにより流れを渡さない。名古屋大谷は早めに3回目のタイムアウトを取り、ディフェンスで活路を見出そうとする。しかし、中部大第一は落ち着いて攻略し74-41とさらにリードを広げる。その後も中部大第一⑦の連続3P、⑨のミドルシュートでリードを広げる。

最後まで走り続けた中部大第一が88-50で勝利し、全国大会への出場権を獲得した。

記入者 葛西 太勝

第46回全国高等学校選抜優勝大会愛知県大会(第3回ALL AICHI)

女子決勝

試合日 2015年11月8日
 会場 緑スポーツセンター
 コート MC コート
 開始時間 10:00

TEAM A		TEAM B	
安城学園 (1位シード)	73	星城 (2位シード)	59
18	-	14	
20	-	12	
12	-	31	
23	-	2	
	OT		

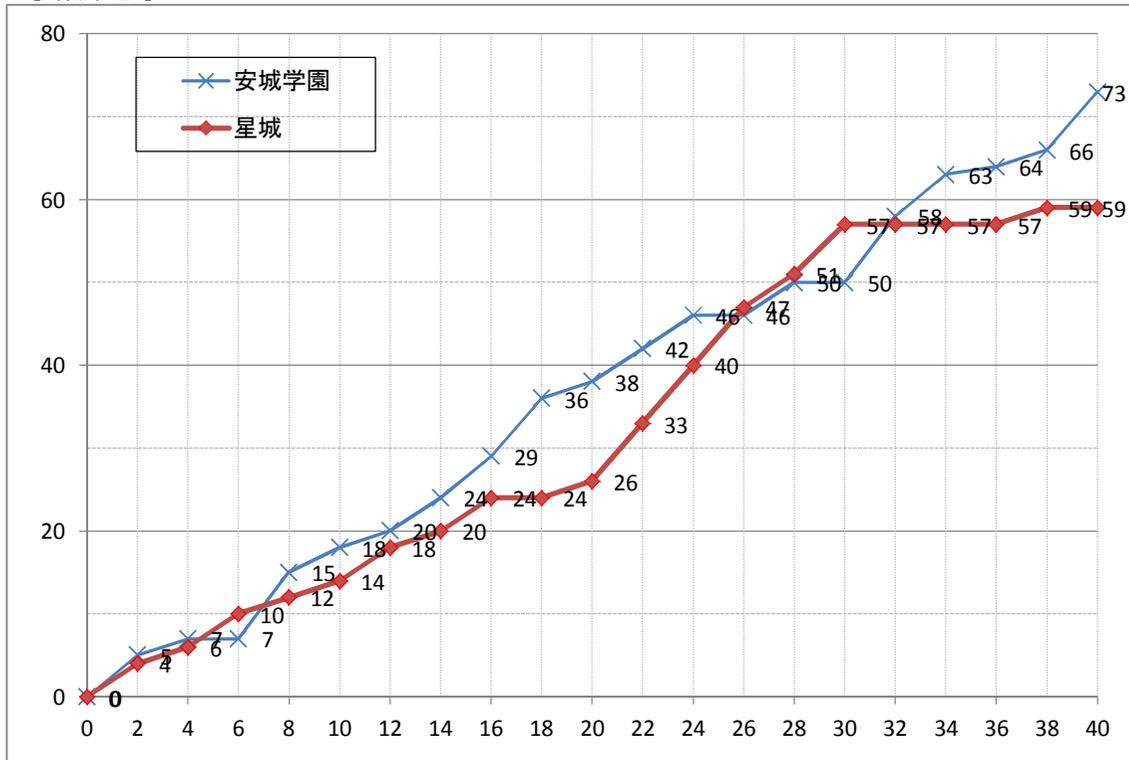
TEAM A 安城学園 (1位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	土田 帆乃香	14	0	4	6	2
5		出羽 汐穂	0	0	0	0	0
6		熊谷 季子	—				
7		宮越 七海	—				
8		中野 みなみ	0	0	0	0	0
9	*	萩野 桜	8	1	1	3	1
10		柿原 千里	—				
11		神納 春奈	0	0	0	0	0
12		上村 菜々美	0	0	0	0	0
13	*	須田 多恵	22	5	2	3	0
14	*	岡田 真那美	10		4	2	0
15	*	高橋 華菜	19	1	6	4	2
16		野田 咲幸	0	0	0	0	0
17		相澤 ひかり	—				
18		千葉 暁絵	—				
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			73	7	17	18	5

TEAM B 星城 (2位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	新井 菜月	5	1	1	0	4
5	*	村瀬 文香	14	0	5	4	2
6		浦町 優理子	0	0	0	0	1
7	*	倉橋 邑佳	9	1	3	0	2
8	*	米納 京香	11	1	4	0	2
9	*	大嶋 里菜	20	0	9	2	5
10		望月 理沙	—				
11		足道 葵	—				
12		浦町 華菜子	—				
13		前野 花帆	—				
14		古田 未有	—				
15		深田 侑希	—				
16		倉地 敦美	—				
17		愛甲 なつむ	—				
18		川上 明日香	—				
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			59	3	22	6	16

【 得点経過 】



【 戦評 】

決勝戦は昨年度同様、安城学園高等学校と厳しい準決勝を勝ち抜いた星城高等学校との対戦となった。1Pディフェンスは両チームともにマンツーマンディフェンスからスタート。オープニングショットは安城学園⑬の鮮やかな3P。主導権を渡したくない星城もすかさず⑦がリバウンドからゴール下シュートで返す。続くオフェンスで安城学園は早いパス回しから、⑭ドライブからのインサイドで⑮の得点に結びつける。星城はスクリーンプレーから2対2を作りフィニッシュに結びつけ⑧が得点。リズム良く両チームが得点を重ねたが、ここから得点が止まり、互いの厳しいディフェンスが動き始める。均衡を破ったのは、準決勝で決勝点を決めた星城⑨のドライブに安城学園⑮がたまたまファウル。これを確実に2本決めて星城がリードする。フリースロー後星城はオールコートマンツーマンを仕掛けるが、安城学園は落ち着いて運び⑭の強いインサイドプレーに星城⑩がたまたまファウル。しかし、安城学園はフリースローを1本も決められず、逆に星城⑨にドライブから2Pを決められる。リズムがつかめない安城学園はタイムアウトをとり修正をはかる。タイムアウト後も、なかなか得点に結びつけることはできなかったが、安城学園⑮の3Pで同点に追いつくと、オフェンスのリズムを取り戻し始める。両チームともに得点の取り合いになったが、アウトサイドの決定力に勝る安城学園が18-14の4点差リードで終える。2P星城はスクリーンプレーから抜け出しドライブ、ファウルを誘いフリースローを獲得。確実に2本決めフリースロー後、星城は2-2-1ゾーンプレスを仕掛けてスティールに成功し連続ポイント。立ち上がり成功したかに見えた星城であったが、ここから安城学園がリバウンドを完全に支配。リバウンドが取れない星城はゴール下でのファウルが重なり始める。リズムを修正したい星城はタイムアウトを取ると、⑧のインサイドプレー、⑦のドライブで勢いを取り戻し始める。しかし、安城学園⑬が3Pを決めると、⑮のインサイドプレーなどで連続ポイント。7点差となり得点が離されそうになったところで、星城がたまたまタイムアウト。タイムアウト後、安城学園は2-2-1のオールコートプレスを仕掛けスティールを奪う。ここから、安城学園がオールコートプレスと、支配したリバウンドで12点差に差を広げ2Pを終えた。3P星城ボールからスタート。星城は決定力で苦しんでいたアウトサイドのシュートであったが、⑦が3Pを決め幸先の良いスタートを切る。ここから両チームの点の取り合いが始まる。その中で、星城はスクリーンプレーで効果的に2対2を作り、ドライブしながらも効果的にインサイドアウトから星城④⑧の3Pなどで、点差が一気に3点差まで追いつく。安城学園はタイムアウトで守勢を図るが、星城の勢いは止まらない。⑬のドライブ、3Pと連続ポイントもあり点差を離すと星城は残り6分47秒のところでタイムアウトをとる。4Pが始まってここまで星城は無得点で苦しい展開。タイムアウト後も、安城学園は星城に効果的に攻められていた2対2のオフェンスをスイッチアップにすることで完全に封じる。星城⑤がドライブで2点を返すが、4P星城の唯一の得点となる。その後も得点を重ねた安城学園が73-59で星城を破り全国大会出場の切符を手に入れた。

記入者 堀 洋嘉

第46回全国高等学校選抜優勝大会愛知県大会(第3回ALL AICHI)

男子準決勝

試合日	2015年11月8日
会場	名古屋市体育館
コート	NA コート
開始時間	11:40

TEAM A		TEAM B
中部大第一 (1位シード)	95	小坂井 (5位シード)
	26 - 17	
	23 - 14	
	20 - 12	
	26 - 21	
	OT	

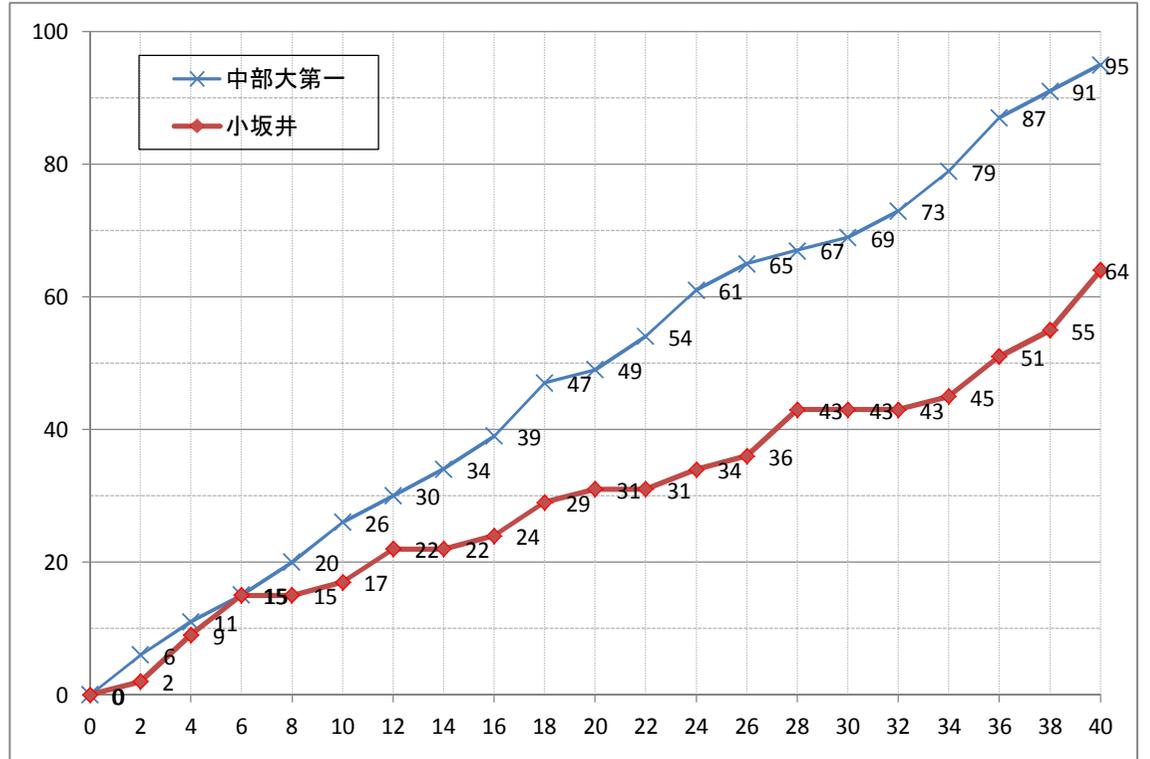
TEAM A 中部大第一 (1位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	遠藤 和希	11	0	4	3	3
5		早川 雄大	—				
6	*	中村 浩陸	3	1	0	0	1
7		広沢 龍星	0	0	0	0	1
8	*	战 歌	36	0	17	2	3
9		加納 祐治	4	0	2	0	3
10		大川 翔	—				
11		上澤 俊喜	0	0	0	0	1
12		位田 真輝	—				
13	*	デイヴンジュニア 夕キ	10	0	4	2	0
14		川井 凱	2	0	1	0	0
15		王 伟嘉	16	0	8	0	1
16		石川 智章	—				
17	*	坂本 聖芽	13	1	2	6	1
18		星野 京介	—				
TEAM/COACH	/	/	/	/	0		
TOTAL		95	2	38	13	14	

TEAM B 小坂井 (5位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	夏目 柊	14	1	5	1	2
5		今泉 匡史	0	0	0	0	0
6	*	中島 大輝	5	0	2	1	2
7		野沢 拓未	0	0	0	0	3
8		綱島 捷太郎	—				
9		篠田 拓郎	—				
10		市原 幸汰	—				
11		田中 俊輔	—				
12		松田 佳大	—				
13		建部 篤志	—				
14		山本 大地	—				
15		吉川 侑希	0	0	0	0	0
16	*	神田 翔太郎	8	0	4	0	3
17	*	今泉 知大	28	4	6	4	4
18	*	深津 良公	9	1	1	4	2
TEAM/COACH	/	/	/	/	0		
TOTAL		64	6	18	10	16	

【得点経過】



【戦評】

中部大第一のインサイドVS小坂井のアウトサイド対決となった。1P両チームともにマンツーマンでスタート。オープニングショットはどちらも決まるが、その後中部大第一はホルマンに激しくプレッシャーをかけて簡単にシュートまで行かせない。中部大第一のオフェンスはボールがテンポ良くまわり④⑧⑬⑰とほぼ全員が得点を重ねる。それに対して小坂井は⑰がショットコーナーからのポストプレー、3Pシュート、スティールからのレイアップを決めて大暴れる。またディフェンスはマンツーマンからゾーンプレス、ゾーンを併用して相手に揺さぶりをかけ15-15と食い下がる。しかし中部大第一はインサイド⑧へボールを集め確実に点数を重ねる。流れを変えたい小坂井だが無理なディフェンスをして相手にフリースローを与えてしまう。また中部大第一はファストブレイクもよく決まり小坂井の苦しい状況は続く。1P終盤、中部大第一はセンター⑧がリバウンドからドライブで運びキレのあるスピッターで鮮やかにシュートを決める。小坂井は⑰がリバウンドシュートで繋ぎ1P26-17で終了。

2P最初は両チームともにマンツーマンでスタートするが、小坂井は頻りにゾーンに切り替える。中部大第一は1P同様にディフェンスで相手にプレッシャーをかけミスを誘う。ディフェンスからファストブレイクと⑧のインサイド、そこに⑰のドライブを織り交ぜて得点が入り小坂井はたまたまずタイムアウトを取る。小坂井はビックプレーから⑩のドライブ、⑰の3P、⑯のミドルシュートで追撃する。しかし、ゲームのポイントでインサイドを中部大第一に支配される。終盤に小坂井⑰のブロックショットで食らいつづきが点差はこのゲーム最大18点差の49-31で2Pが終了する。

3P中部大第一はマンツーマン、小坂井はゾーンでスタートする。どちらもターンオーバーが多くリズムが掴めないが、その後中部大第一は⑧のインサイド、⑥のステップバックからの3Pで得点する。小坂井はシュートが入らず苦しい展開が続くが⑰がディフェンスで素早い動きを見せスティールで得点、3Pシュートでファウルをもらい4点プレーと獅子奮迅の活躍をする。3P終了時点で69-43。

4Pも3P同様にマンツーマンとゾーンで始まる。小坂井は中部大第一⑧のポストプレーが止められない。中部大第一は④からの見事なアシストパスによりインサイドとファストブレイクで確実に加点する。小坂井は⑰が単発のシュートを放つがなかなか入らず点が伸びない。ゲーム終盤になると⑯のドライブとショットコーナーからのミドルシュート、④のドライブとバックハインドのアシストパスで気を吐いたが点差は縮まらず95-64で中部大第一が勝利した。中部大第一の絶対的なインサイドの強さが際立った試合であった。

記入者 鈴木 健太郎

第46回全国高等学校選抜優勝大会愛知県大会(第3回ALL AICHI)

男子準決勝

試合日	2015年11月8日
会場	名古屋市体育館
コート	NB コート
開始時間	11:40

TEAM A		TEAM B
安城学園 (3位シード)	67	名古屋大谷 (2位シード)
	15 - 12	
	8 - 22	
	20 - 20	
	24 - 23	
	OT	

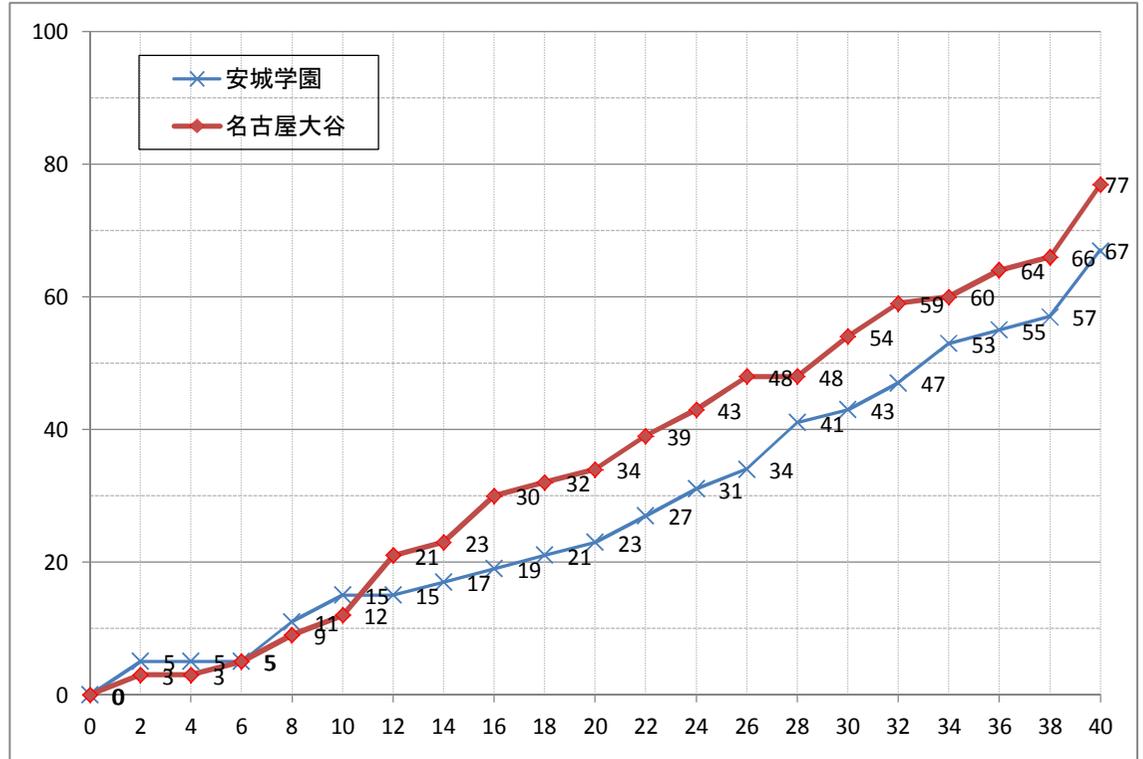
TEAM A 安城学園 (3位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		神谷 匠	0	0	0	0	3
5	*	菅野 正和	6	0	2	2	2
6		兼子 春日	0	0	0	0	1
7	*	松本 吉平	19	3	3	4	3
8	*	黒田 亘	20	0	9	2	4
9	*	西原 世乃	7	1	2	0	1
10		若杉 栄治	4	0	2	0	1
11	*	山本 楓己	11	1	4	0	5
12		伊藤 草太	—				
13		松元 颯星	—				
14		温井 武	—				
15		名倉 秀明	0	0	0	0	0
16		山内 海人	—				
17		長者原 翔	—				
18		加賀 太志朗	—				
TEAM/COACH	/	/	/	/	/	0	
TOTAL			67	5	22	8	20

TEAM B 名古屋大谷 (2位シード)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	田中 亮	4	0	1	2	1
5		川尻 政宏	13	0	5	3	1
6		西島 雄大	2	0	1	0	0
7	*	川尻 幸宏	6	0	3	0	2
8	*	萱 領人	19	2	6	1	2
9		嶋田 裕斗	2	0	1	0	0
10		伊藤 堅斗	0	0	0	0	0
11		杉村 郁裕	0	0	0	0	0
12	*	那須 ケビン	17	2	4	3	0
13		平塚 直輝	—				
14	*	大橋 智海	14	2	4	0	4
15		東 海斗	0	0	0	0	0
16		伊藤 佑馬	—				
17		川本 春樹	—				
18		後藤 秋	—				
TEAM/COACH	/	/	/	/	/	0	
TOTAL			77	6	25	9	10

【 得点経過 】



【 戦評 】

第1ピリオドは両チーム、マンツーマンディフェンスでスタート。名古屋大谷は⑭の3ポイント、安城学園は⑧のレイアップで得点し、互いにルーキーの思い切りの良いシュートで試合が動き出す。その後は両チームともに攻撃の糸口がなかなかつかめず重たい立ち上がりとなる。その中、安城学園は⑧が攻撃の起点となり、少しずつリードを広げていく。名古屋大谷はインサイドプレイヤーの高さをいかし、⑦のオフェンスリバウンドからのフットバック、途中出場の⑤のポストプレイで加点し点差を縮め始めるが、ゲームの序盤は12対15と安城学園がリードする。

第2ピリオドで重たい雰囲気を開きたい名古屋大谷は、⑧のアウトサイドシュートが高確率で決まり始め得点を量産する。守っては⑫がスティールで速攻のチャンスをつくり一気に逆転に成功する。安城学園はディフェンスをゾーンに切り替えるが、思うように流れを掴むことができず、34対23と名古屋大谷にリードをゆるし前半を終える。

第3ピリオド、引き続きゾーンディフェンスの安城学園に対し、名古屋大谷のアウトサイドシュートが次々と決まる。外れたシュートもオフェンスリバウンドを確実に獲得し、さらにリードを広げ始める。流れを変えたい安城学園はディフェンスをマンツーマンに戻し、攻めてはパスが小気味よくまわり始める。ここまでプレイタイムの短かった⑦が3ポイント、フリースローで連続得点するが、速攻でレイアップをミスし、逆に速攻に走られてしまう。点差を縮められないまま54対43で名古屋大谷リードで第4ピリオドを迎える。

引き続きアウトサイドシュートが高確率で決まる名古屋大谷に対し、安城学園はゾーンプレスで勝負にでる。ボール運びに対して激しくプレッシャーをかけ、相手のミス誘発。それを得点につなげるが、ここでチームを引っ張ってきた⑪が5ファウルで退場となる。その後は互いにミスが続く膠着状態であったが、名古屋大谷⑦のドライブからのレイアップ、⑫のジャンプシュートが決まり安城学園を突き放す。後のない安城学園はファウルゲームをしかけ、⑦⑨の3ポイントシュートに望みを託すが続かない。結局、最後まで相手につけいる隙を与えなかった名古屋大谷が77対67で勝利し、決勝へ駒を進めた。

記入者 長門 智史

第46回全国高等学校選抜優勝大会愛知県大会(第3回ALL AICHI)

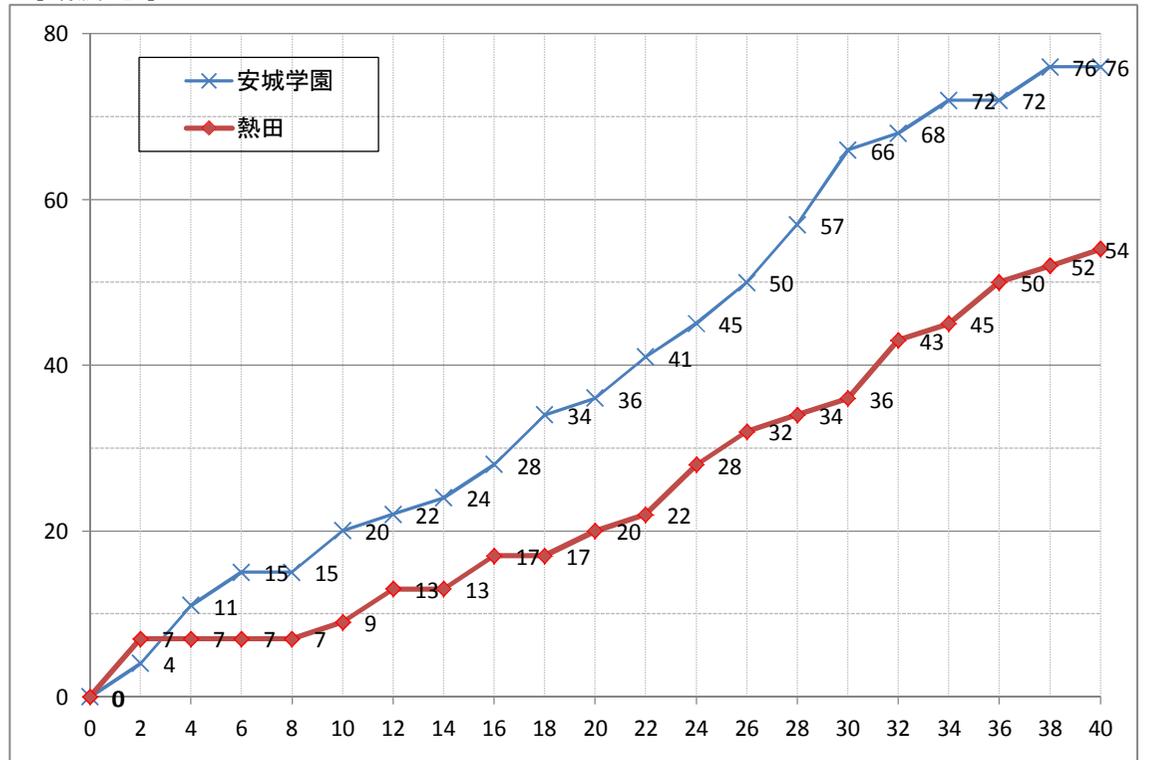
女子準決勝	
試合日	2015年11月8日
会場	名古屋市体育館
コート	NA コート
開始時間	10:00

TEAM A		TEAM B
安城学園 (第1シード)	76	54 熱田 (名南)
	20 - 9	
	16 - 11	
	30 - 16	
	10 - 18	
	OT	

TEAM A 安城学園 (第1シード)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	土田 帆乃香	16	0	8	0	1
5		出羽 汐穂	0	0	0	0	1
6		加藤 理子	0	0	0	0	1
7		白井 望	0	0	0	0	0
8		中野 みなみ	4	0	2	0	0
9	*	萩野 桜	6	2	0	0	2
10		柿原 千里	0	0	0	0	0
11		神納 春奈	2	0	1	0	0
12		上村 菜々美	2	0	1	0	0
13	*	須田 多恵	18	4	3	0	1
14	*	岡田 真那美	15	0	6	3	1
15	*	高橋 華菜	11	1	4	0	3
16		野田 咲幸	0	0	0	0	1
17		相澤 ひかり	0	0	0	0	0
18		千葉 暁絵	2	0	1	0	1
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			76	7	26	3	12

TEAM B 熱田 (名南)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		塚本 菜穂美	10	2	2	0	1
5	*	吉川 ともえ	5	1	1	0	3
6		二村 葵	0	0	0	0	0
7		布目 莉香子	2	0	1	0	0
8		福島 遥	0	0	0	0	0
9	*	吉田 友紀	5	1	1	0	1
10	*	小川 実穂	14	2	3	2	2
11	*	黒田 広美	2	0	1	0	0
12	*	杉木 香穂	12	0	5	2	3
13		松内 景音	4	1	0	1	0
14							
15							
16							
17							
18							
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			54	7	14	5	10

【 得点経過 】



【 戦評 】

第1シードの安城学園高校と公立高校ながらベスト4に勝ち上がった熱田高校による準決勝。1P両チームともにマンツーマンディフェンスでゲームをスタートする。熱田が3Pで先制。その後両チームともに加点していくが、安城学園がじりじりリードを広げ始める。熱田⑫のゴール下に対してファールがなった所で安城学園が1回目のタイムアウト。タイムアウト後は両チームとも得点が止まるも、熱田はファールがかさみ苦しい展開。安城学園は⑭のバスケットカウントで得点を追加し、20-9のリードで1Pが終わる。

2P両チームともディフェンスはマンツーマンのまま。熱田は、⑬の3P、ドライブを中心にオフェンスを展開。さらに、⑫のオフェンスリバウンドからのゴール下等で加点していく。それに対し安城学園は、⑬のドライブ、⑭のゴール下等で順調に得点を積み重ねる。5分が経過したところで安城学園のタイムアウト。タイムアウト後安城学園が前から当たり出したところで、熱田⑪が負傷。タイムアウトを取るも、熱田は苦しい展開。その後④のジャンプショット、ドライブ、⑮のドライブ等で加点する安城学園に対し、苦しい熱田は2回目のタイムアウト。タイムアウト後、安城学園④ドライブ、熱田⑩の3Pでそれぞれ得点を加え、36-20の安城学園リードで前半を終える。3P熱田は前半と変わらずハーフトーマンツーマンに対し、安城学園は前からのフェンシングディフェンス。熱田⑩のドライブ、安城学園⑬のドライブ等でお互い攻めるなか、熱田は④、⑩の連続ロング3Pが炸裂する。安城学園は⑬の3P、④のゴール下で返していく。点差が開いていくと、残り2分34秒で熱田はタイムアウト。しかしタイムアウト後、安城学園は⑮のミドルショットを皮切りに⑬、⑮の連続3P。残り1分熱田はたまたま再びタイムアウト。さらに3Pで加点されるも熱田は最後に⑫がゴール下でファールをもらいフリースローを2本とも沈める。熱田が必死に食らいつくも、安城学園は着実にリードを広げ、66-36で3Pを終えた。

4P安城学園はメンバーを変えた影響からか、得点が伸び悩む。熱田は⑫のゴール下バスケットカウント、⑩のジャンプショット、④の3P等で最後の意地を見せる。それに対し安城学園は⑩のジャンプショット、⑯のレイアップ等で落ち着いて加点する。最後まであきらめない熱田だったが、第1シードの安城学園が76-54と22点差をつけ、決勝進出を決めた。

記入者 池内 正大

第46回全国高等学校選抜優勝大会愛知県大会(第3回ALL AICHI)

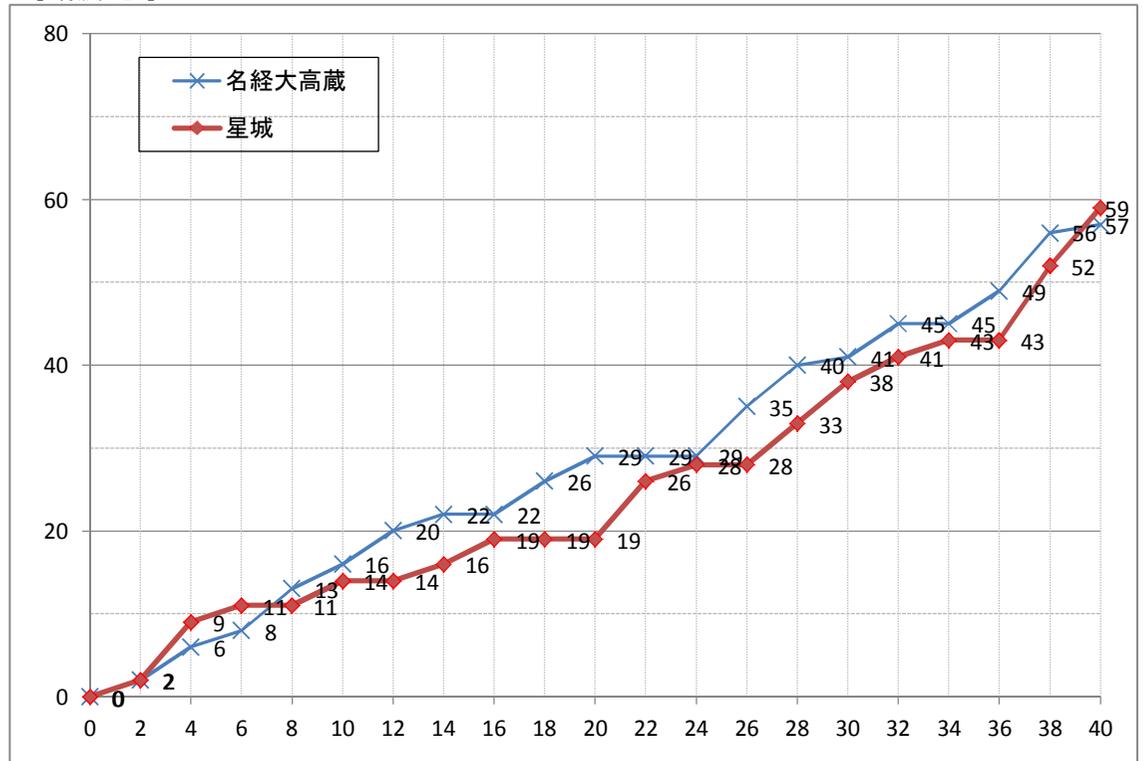
女子準決勝	
試合日	2015年11月8日
会場	名古屋市体育館
コート	NB コート
開始時間	10:00

TEAM A		TEAM B
名経大高蔵 (第3シード) 57	16 - 14 13 - 5 12 - 19 16 - 21 OT	59 星城 (第2シード)

TEAM A 名経大高蔵 (第3シード)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	亀山 詩織	6	0	3	0	1
5	*	平井 絵梨	17	1	6	2	1
6	*	関口 侑花	12	0	6	0	2
7	*	古田 麻紀穂	13	2	3	1	2
8	*	岡本 彩也加	9	0	4	1	3
9		子安 利奈	—				
10		梶田 彩佳	—				
11		堀内 香歩	—				
12		佐々木 里菜	—				
13		服部 紋佳	—				
14		磯部 らな	0	0	0	0	1
15		芦田 佳代	—				
16		入江 杏花	—				
17		角田 沙穂	—				
18		新川 まや	—				
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			57	3	22	4	10

TEAM B 星城 (第2シード)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	新井 菜月	11	3	1	0	5
5	*	村瀬 文香	15	0	6	3	2
6		浦町 優理子	0	0	0	0	0
7	*	倉橋 邑佳	12	2	3	0	2
8	*	米納 京香	3	1	0	0	3
9	*	大嶋 里菜	18	2	5	2	2
10		望月 理沙	—				
11		足道 葵	—				
12		浦町 華菜子	—				
13		前野 花帆	—				
14		古田 未有	—				
15		深田 侑希	—				
16		倉地 敦美	—				
17		愛甲 なつむ	—				
18		川上 明日香	—				
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			59	8	15	5	14

【 得点経過 】



【 戦評 】

1P両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。名経大高蔵はシュートが決まると2-2-1ゾーンプレスからハーフマンツーマンでプレッシャーをかける。星城が⑨のスクリーンを利用したドライブで先制点を上げる。名経大高蔵は⑥のドライブが決まる。互いに得点を上げるが、次第に名経大高蔵のターンオーバーが増え、星城④の3P、⑤のカットインプレーにより6-11で星城がリードする。その後、残り4分8-11となったところで星城が1回目のタイムアウト。名経大高蔵は⑥のバスケットカウントプレーにより同点に追い付く。ディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、プレッシャーを与える。名経大高蔵は⑥のポストプレー、⑦の3Pにより16-11でリードを広げ、1Pは名経大高蔵16-14で終了。

2P名経大高蔵⑧がリバウンドからゴール下のシュートを決め、⑥のインサイドプレーも決まりリードを広げる。星城はインサイドのハイロープレーが決まり、残り7分20-16となったところで名経大高蔵が1回目のタイムアウト。その後、名経大高蔵はスクリーンプレーから⑧のドライブが決まる。星城はインサイドにボールを入れようとするが、名経大高蔵がディフェンスを頑張り得点を上げられない。残り4分星城が2回目のタイムアウト。星城はファーストブレイクから④の3Pが決まるが、名経大高蔵は⑦のドライブ、⑤の3Pによりリードを広げ、29-19名経大高蔵10点リードで2P終了。

3P星城は⑤の1on1プレー、⑧の3Pで追い上げ、29-26とする。名経大高蔵は開始4分ゴールを決められない。しかし、ディフェンスから頑張りを見せ、⑤のカットインプレー、⑧のリバウンド、⑥のミドルシュートから流れを引き寄せる。残り6分35-28で名経大高蔵が7点リード。星城が⑦の3P、名経大高蔵はスクリーンを使った⑤のドライブが決まり、お互いに点を取り合う。終盤、星城⑨のドライブ、3Pが決まり、追い上げを見せ、40-38名経大高蔵3点リードで3P終了。

4P星城は④が24秒ぎりぎり3Pを決め、同点とする。名経大高蔵はオールコートでディフェンスのプレッシャーをかけ、⑥が体を張りインサイドで加点する。残り7分、43-41で星城がタイムアウト。その後、星城⑦が3Pを入れ返すが、名経大高蔵も④のインサイド、ファーストブレイクが決まり、53-46で名経大高蔵がリード。ここから星城が追い上げを見せ、ディフェンスからブレイクを出し、残り2分56-54で2点差となる。名経大高蔵は決めきれず、残り30秒星城は⑦の3Pで同点とする。延長に入るかと思われた、ラストワンプレーで星城⑨のドライブがブザービーターで決まり、星城が57-59で劇的な勝利を上げた。

記入者 長谷川 和仁